長野県赤穂高等学校商業科　平成 30 年（2018 年）8 月 1 日　発行

ビジネスをサイエンスする

創立102年目の挑戦！

2018

長野県赤穂高等学校 商業科通信

vol.123

信州　駒ケ根

経済社会で役立つスキルを身につける　地域社会の問題を考え貢献する　困難な課題を突破する力を育てる

夏に鍛える！

7月28日より夏休みに入りました。最初の一週間は1年生から3年生まで全校で補習に取り組んでいます。夏にしっかり実力をつけて、秋の飛躍!?に期待がかかります！

生徒は夏休みの補習に取り組んでいます！

３年就職者補習

この日は、就職した卒業生2人からお話を聞きました。

２年会計補習

１年簿記補習

１年情報処理補習

商業科3年木村さん『伊那まつりうちわデザイン』採用で表彰されました！

信濃毎日新聞　7月31日（火）掲載

ポスターなど採用者を表彰

4・5日の「伊那まつり」

うちわ、ポスター、Tシャツにデザインが採用された（右から）木村さん、宮下さん、唐沢さん

伊那市で8月4、5日に開かれる「伊那まつり」の実行委員会は30日、祭りのポスター原画コンクールの入賞者や、Tシャツとうちわのデザイン採用者らの表彰式を市役所で開いた。

ポスターは市内全6中学校の2年生を対象に募集。最優秀賞に選ばれた高遠中2年宮下玲さん(14)の作品は、竜を主題にそばや桜など市の名物を描いた。Tシャツは竜を花火、ちょうちんをドット柄で表現した同市西町の会社員唐沢真実さん(25)、うちわはヒマワリ畑など夏の雰囲気を前面に出した赤穂高校（駒ケ根市）3年の木村琴美さん(17)の作品が採用された。

表彰式で宮下さんは「ポスターを通して祭りを盛り上げる仕事に参加できた」、唐沢さんは「着て楽しいデザインになった」とあいさつ。木村さんは「このうちわで少しでも涼しくなってくれればうれしい」と喜んでいた。

表彰式にはポスターの優秀賞受賞者6人も参加した。

長野日報　7月31日（火）掲載

伊那まつり 盛り上げます

ポスター　Tシャツ　うちわ

入賞・採用者を表彰

ポスター原画コンクールの入賞者と、Tシャツ・うちわのデザイン採用者（前列左から唐澤さん、宮下さん、木村さん）

伊那市の市民祭り「第61回伊那まつり」（8月4、5日）の実行委員会は30日、ポスター原画コンクールと、公式Tシャツ・うちわデザインの表彰式を市役所で開いた。ポスターコンクで最優秀賞に選ばれた高遠中学校2年の宮下玲さん（14）＝同市高遠町小原＝ら入賞者・採用者の9人が出席。白鳥孝市長から表彰状を受け、「盛り上げに貢献できてうれしい」などと喜びを語った。（鮎沢健吾）

ポスターは市内6中学校の2年生の作品から、Tシャツとうちわは一般公募した作品の中から選考した。

龍と桜、そば、イーナちゃんを、色彩豊かにバランスの取れた構図で描いた点が評価された宮下さん。信州そば発祥の地・伊那をPRするためにそばも入れたとし、「皆さんが目にするポスター。祭りを盛り上げる重要な仕事に参加できてうれしい」と受賞を喜んだ。

Tシャツ採用者の会社員唐澤真実さん25＝同市西町＝は、ドット柄の龍のデザインについて「新たな一歩を踏み出す61回目の祭り。ポジティブなイメージにした」と語り、「伝統の祭りで着てもらえて光栄」と笑顔を見せた。

うちわは夏らしいヒマワリの図柄。採用者で赤穂高校3年の木村琴美さん(17)＝駒ケ根市赤須東＝は「駒ケ根市民ですが、伊那市の祭りに少しでも貢献できればと思って応募しました」と話した。実行委によると、ポスターは1000枚、Tシャツは300枚、うちわは1万4000本作製した。

〒399-4117 長野県駒ケ根市赤穂 11041-4　直通電話 0265-82-7408